

天理大学ふるさと会海外研修報告書

日米夫婦間のコミュニケーション・パターンの相違を学ぶ
—ハワイ州ホノルルにおける現地調査を中心に—

天理大学国際学部外国語学科英米専攻4年次生 板橋 佑夏



目次

1. はじめに
2. 日程
3. アンケート調査について
 - 3.1 アンケート紙の内容
 - 3.2 アンケート結果
4. 異文化交流
4. 感想・二週間の振り返り

1. はじめに

この度は、天理大学ふるさと会海外研修に採用していただき、誠にありがとうございました。ふるさと会のみなさまをはじめ、ゼミの島田先生やたくさんの方々の支援により実現することができ、コロナ禍ではありましたが、無事に終えることができました。初めての海外の長期滞在でしたが、本当に充実した研修になりました。

私は、日米間の男性のジェンダー意識の比較について卒業論文を執筆します。そのため、今回この海外研修の場をお借りして、アメリカ人夫婦とアメリカ人夫と日本人妻の国際結婚をしている夫婦の文化と価値観と夫婦間コミュニケーション・パターンをアンケート調査やインタビュー調査をするために、8月28日から9月14日までの約2週間アメリカ合衆国のハワイ州ホノルル市を中心に研修を行いました。

日本で行った事前調査でホノルルにある英語語学学校である **Central Pacific College (CPC)** に現地在住のアメリカ人教職員の夫と国際結婚をしている日本人スタッフの方や生徒が多くいる情報を公式サイトから得ており、実際に CPC に通いながらアンケート調査を行いました。

2. 日程

ホノルル:8月28日～9月13日まで

Central Pacific College の学生寮(4人部屋)に滞在

Central Pacific College に通学しながらアンケート調査



3. アンケート調査について

3.1 アンケートの内容

実際に行ったアンケートでは、ジェンダーを「行動」として考える「Doing Gender」に焦点を当てて、家事・育児の協力度合いや普段のコミュニケーション頻度の比較をしました。

そして、このアンケートは上述の通り、アメリカ人と国際結婚されている日本人女性の方々に調査をおこないました。CPC のスタッフの方々以外にも、カフェの店長の方々や、国際結婚している日本人女性のママ友グループに紹介して頂き、たくさんの方々が協力をしてくださり、26名の方に回答していただくことができました。

1. あなたの年代を教えてください。

1. 10代以下(19歳以下) 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上

2. あなたの夫の国籍を教えてください。

3. あなたの結婚年数をおしえてください。

1. 10年未満 2. 10年以上 20年未満 3. 20年以上 30年未満 4. それ以上

4. お子様の人数を教えてください。いらっしゃらない場合は0と記入してください。

(0と記入された方は6へ)

5. お子様の年齢で当てはまる選択肢を全て選択してください。

1. 小学校入学前 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. 大学生 6. 社会人

6. あなたの夫の普段の育児の協力についてうかがいます。ここでの「育児」は乳幼児から小学校入学前の子供の世話のことです。以下の質問をよく読んで、あてはまる数字に○をつけてください。

① あなたの夫は普段、育児をしますか/しましたか？

1. 全然しない 2. あまりしない 3. ややする 4. 非常にする

② あなたが子育てをしているとき、夫は手伝ってくれますか/くれましたか？

1. 全然手伝わない 2. あまり手伝わない 3. やや手伝う 4. 非常に手伝う

③ あなたの夫は、週にどれくらいの時間、子育てをしますか/しましたか？

1. しない 2. 1時間未満 3. 1時間半以上～2時間未満 4. 2時間以上～3時間未満 5. それ以上

④ あなたの夫の協力で子育てが楽だと感じたことはありますか？

1. 全然ない 2. あまりない 3. ややある 4. 非常にある

7. 次に、ここではあなたの夫の普段の家事の協力についてうかがいます。ここでの「家事」は掃除、洗濯、料理、買い物のことを指します。以下の質問をよく読んで、あてはまる数字に○をつけてください。

① あなたの夫は普段家事をしますか？

1. 全然しない 2. あまりしない 3. ややする 4. 非常にする

② あなたが家事をしているとき、夫は手伝ってくれますか？

1. 全然手伝わない 2. あまり手伝わない 3. やや手伝う 4. 非常に手伝う

③ 週にあなたの夫は、どれくらいの時間、家事をしますか？

1. しない 2. 1時間未満 3. 1時間半以上～2時間未満 4. 2時間以上～3時間未満 5. それ以上

④ あなたの夫の協力で家事が楽だと感じたことはありますか？

1. 全然ない 2. あまりない 3. ややある 4. 非常にある

8. 最後に、ここではあなたの夫の普段の言葉での愛情表現についてうかがいます。

① あなたの夫は、記念日や特別な日を除いて、あなたに対し「愛している」などの愛情表現をしますか。

1. 全然しない 2. あまりしない 3. ややする 4. 非常にする

② あなたの夫は、記念日や特別な日を除いて、あなたに対し贈り物をするときがありますか。

1. 全然しない 2. あまりしない 3. ややする 4. 非常にする

③ 普段の生活の中で、家庭の問題や仕事内容以外でのコミュニケーション(会話)の時間はありますか？

1. 全然ない 2. あまりない 3. ややある 4. 非常にある

④ ③であると答えた方に質問です。夫婦のコミュニケーション(会話)は1日どのくらいですか？

1. 10分未満 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3時間以上

3.2 アンケート結果

ハワイ在住のアメリカ人男性の Doing Gender に対する以下の表に回答をまとめています。(小数点第 2 で四捨五入)

	1	2	3	4	5
6-①	0%	7%	42%	32%	
6-②	3%	3%	39%	25%	
6-③	3%	3%	12%	38%	31%
6-④	0%	8%	38%	35%	
7-①	0%	29%	32%	39%	
7-②	0%	36%	36%	18%	
7-③	0%	32%	14%	32%	18%
8-①	0%	21%	29%	43%	
8-②	0%	1%	32%	56%	
8-③	0%	0%	46%	43%	
8-④	1%	21%	43%	25%	

表 1 アンケート回答結果

上記の結果で一番驚いたのは、アメリカ人男性の日常での愛情表現の頻度の高さです。この結果を用いて、現在回収している日本人男性のアンケートと比較し卒業論文を執筆していきます。

4. 異文化交流

アンケート・インタビュー調査のために通った語学学校で、幅広いヨーロッパ圏の友達やアジア圏の友達ことができました。普段から英語でコミュニケーションを取る機会がない私にとって彼らや彼女たちとのコミュニケーションはとても貴重な経験でした。

ここで、私の通っていた語学学校について少し説明します。CPC はハワイ・オアフ島の人気エリアであるアラモアナにあり、学校から徒歩 2 分のアラモアナセンターやアラモアナビーチをはじめ、人気エリアのワイキキや最近ハワイで一番熱いスポットであるカカアコに近く、オシャレなカフェやショップが多くあります。クラス編成は午前と午後に分かれており、午前はレベル別に 4 クラス、午後は 2 クラスあります。私は、午前の上から 2 番目のクラスに在籍し、10 人クラスで日本人 4 人、ブラジル人 1 人、韓国人 1

人、ロシア人 1 人、イタリア人 1 人でした。また、週末に自由参加のアクティビティがあり、いきいたいところに友達と訪れました。ワイケレアウトレットでセールを楽しんだり、ダイヤモンドヘッドに登ったり、ワイキキビーチで海水浴をしたりと自由時間は国際交流に励むことができ、そこで他のクラスのメンバーとも友達になり、アンケート協力も依頼し、上述のように日本人女性コミュニティも紹介していただくことができました。

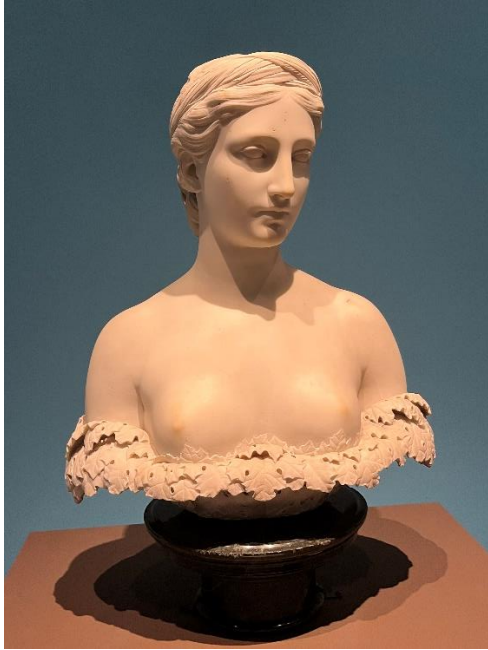


写真1 ワイキキ美術館訪問



写真2 全米で一番綺麗と言われているラニカイビーチ散策

寮も学校近くにいくつかあり、私の寮は日本人 5 人、スイス人 1 人、ドイツ人 1 人で、共有のキッチン、シャワー、リビングで暮らしていました。

学校生活の中で、最も印象に残っているのはルームメイトの 16 歳のドイツ人の友達とお互いの学校教育の制度について話し合ったことです。ドイツでは、学校制度が、日本の「六・三・三制」ではなく、初等教育期間を経た時点で、職業の専門や進学専門などの学校を選択する分岐型で、ほとんどの児童は、日本の小学校同様、最初は基礎学校で 4 学年(10 歳)を終えた時点で、中等教育期間をどこで学ぶか、方向を判断しないとはいけません。ドイツ人の彼女は小さい頃から大学進学を目指していたため、来年の 1 月までハワイで英語をマスターしようと留学していました。彼女は、「ドイツでは、英語だけではあまり評価されない。他の学問を極めるか、スペイン語など多言語を話せる人材が評価される。」と言っていました。私が 16 歳の頃は、ただ目の前の定期テストを乗り越えるために必死であったし、10 歳で未来を考えることはなかったので、学問に直向きな彼女を見てとても刺激を受けました。

4. 感想

私は、幼い頃からテレビなどを通してずっと英語に触れてきました。洋画を見る癖がつき、気づいたらもっと世界中の文化に触れたいと思うようになり、ひたむきに英語の勉強を頑張り、天理大学に入学しました。コロナ禍で留学は断念しましたが、東京オリンピックのボランティアを通して、海外の選手と自分の英語で会話できた時、胸が熱くなったのを鮮明に覚えています。そして、ふるさと会の海外研修のお話を島田先生から伺ったとき、就活の不安はありましたが、思い切って申し込み、人生で一番と言っても過言ではないほど、充実した 2 週間をハワイで過ごしました。英語力の向上だけでなく、アンケート協力依頼を通して、ジェンダーに対する考えを現地で出会った人々と話す機会があり、私自身の考え方も変わりました。とくに、男性同士で結婚され、カフェを営んでいる方の「元から男が好きで今の旦那を好きになったわけじゃない。彼の人間性が好きで、自分が愛した人の性別が男性であっただけ」という言葉に感動し、涙しました。また、学校の日本人女性スタッフは「私たちは、性別云々関係なく、同じ人間だからどっちかがプライベートで多く負担しないといけないなんてことはない」と仰っていました。上記のアンケート結果を見ても、明らかな差が出ているように、まだまだ、日本

は男尊女卑や同性婚について反対や厳しい偏見が飛び交う国で、彼らのような考えを持てる人は少ないと思います。少しはジェンダーレスになってきましたが、女性＝家を守ると考えている人もまだまだいます。この研修で、「性別」とは何だろうと考える機会をいただけたし、他者に傾聴することの大切さ、見た目で判断しないことを学びました。この経験を活かし、残りの卒論執筆期間で、日本のジェンダーレスに少しでも貢献できるような卒論を書き上げたいと思います。実りある研修をさせていただき誠にありがとうございました。

令和4年 11月 10日